

講座

Web 広告

村山 哲治

サイトリニューアルで SEOを維持！失敗 しない五つのステップ

■Web サイトリニューアルは SEO 順位に要注意

ネット広告の反応に応じ、Web サイトのコンテンツ更新やページ構成の見直しなどは随時行われていると思います。その中で数年に一度、Web サイトのリニューアルという大規模なサイトの改修を行なう機会があります。メニュー構成の見直しやトレンドデザインにあわせたイメージチェンジ、広告効果を高めるためのレイアウト変更など、リニューアルによるさらなる効果を期待して行なわれるわけですが、Web サイトの担当者から必ずといっていいほど確認されるのが、「リニューアルしてSEOの順位が下がったりしませんよね」です。また、「新たな制作会社でリニューアルしたらSEOの順位が下がった

んだけど何とか前の順位に戻せますか」といった問い合わせもあります。

じつは、リニューアル過程ではSEOの順位が落ちるリスクがあるのです。とくにSEOが順調で、高順位を獲得しているWebサイトは要注意。そこで今回は、サイトリニューアルを成功させつつ、SEOの順位をしっかりと維持する方法について、その実践方法を五つのステップで解説します。

■SEO順位を維持する 五つのステップとは

ネット広告でCV（コンバージョン）が目標を達成し一定の効果が出ていたり、主要なキーワードがSEOで高順位をキープしていたりすると、リニューアルに躊躇するものです。というのも、Googleなどのクローラーが巡回した際に構成が変わっていると、インデックスをし直すため、一時的にSEOの順位を落とすことがよくあります。そこで、従来のSEO順位を維持する方法を施しておくことが必要になります。それには、以下の五つのステップで行なっていきます。

- 1) 事前準備と現状分析
- 2) URL設計の見直し
- 3) コンテンツの質を維持・向上
- 4) テクニカルSEOの確認
- 5) リニューアル後のフォロー

1) 事前準備と現状分析

リニューアルを始める前に、Google AnalyticsやSearch Consoleを使って、現在のキーワードランキングや訪問者数、平均訪問時間などをしっかりと把握しておくことで、リニューアル後のパフォーマンスを正確に評価するための基準が設定できます。

2) URL設計の見直し

URLはSEOにおいて非常に重要な要素です。とくに、パーマリンク（永続リンク）の設計をしっかりと行ない、旧URLと新URLのマッピングも計画的に行なうことが重要です。また、ページが移動する場合には、「301リダイレクト」を設定することで、検索エンジンとユーザーを新しいページにスムー

ズに誘導する必要があります。「302リダイレクト」に設定したまま公開し、順位を落とすケースが結構あるのです。

3) コンテンツの質を維持・向上

検索エンジンで評価されたコンテンツはリニューアル後もその価値を失いたくないものです。一方で、時代やユーザーのニーズの変化にあわせ、内容が古くなったり、ユーザーにとって価値の低いコンテンツは、リニューアルを機に見直す必要があります。

つまり、コンテンツをガラッと入れ替えるのはリスクがあるのです。リニューアルでSEO順位が下がったサイトで、旧サイトのPV（ページビュー）が高かったページを再度掲載したら順位が好転したという例はよく聞きます。

4) テクニカルSEOの確認

テクニカルSEOとは、Webサイトの裏側の最適化です。この部分がしっかりと対策されていないと、コンテンツが優れていても検索エンジンから適切に評価されない可能性があります。

<メタデータの最適化>

メタデータは検索結果に直接表示されるため、クリック率に大きな影響を与えます。具体的には次のような対策を行ないます。

- ・タイトルタグ：検索結果やブラウザタブに表示されるページのタイトルは重要です。ユーザーと検索エンジンにとってわかりやすいタイトルにします。

- ・メタディスクリプション：検索結果に表示される短い説明文です。魅力的な説明でクリック率を高めるために、最近ではChatGPTが活用されているようです。

- ・ロボットメタタグ検索エンジンにページのクロールやインデックスの方法を指示します。例えば、インデックスを拒否するページなどを指定したりします。

その他、気をつけておかなければならないのが検索エンジンがクロールやインデックスすることを拒否する設定になっていないかを確認することです。

<サイトのスピード>

最近のSEOのトレンドではページの読み込み速度が重視されています。ページの表示



が遅いとユーザーが離脱してしまう可能性が高く、それによってSEO順位にも悪影響を与えます。画像の圧縮やキャッシュ設定、不要なJavaScriptの削除などできるだけことは行なっておきたいものです。

<XMLサイトマップの記述>

XMLサイトマップは、検索エンジンがサイトをクロールする際のガイドブックのようなものです。このサイトマップに誤りがあると、検索エンジンがサイトを正確に評価できない可能性があります。リニューアルする際には、このXMLサイトマップもしっかりと更新し、不備がないか確認する必要があります。私の相談案件の経験からも、この不備によるSEO順位の下落が多くありました。

5) リニューアル後のフォロー

Webサイトのリニューアルが完了した後も、定期的にそのパフォーマンスをチェックする必要があります。リニューアル後の2カ月程度は、検索ランキングが大きく変動する可能性があるため、定期的に状況を確認し、必要ならば上記の見直しや対策を練り直す必要があります。

やや技術よりの話が多くなりましたが、Webサイトのリニューアルは、ビジネスチャンスをもたらし、さらに高める機会です。しかし、デザインやナビゲーションといったインターフェイスの改善ばかりに気を取られているとSEO順位を落としてしまう可能性があります。この五つのステップを意識することで、リニューアル後もSEOの順位を維持し、効果の拡大へつなげていただきたいと思います。

(東京ドアーズ／人間力教育センター 代表)